

2020 年度課外活動オリエンテーション出展予定団体責任者各位

課外活動オリエンテーション出展団体対象
「新しい生活様式」に即した出展のためのガイドライン（ver.0.0）

2020 年 6 月 16 日
大阪大学大学祭中央実行委員会

0. はじめに

当ガイドラインは、2020 年度まちかね祭において課外活動オリエンテーション出展予定の団体の皆様に対し、新型コロナウイルス感染拡大防止のための「新しい生活様式」に即した出展のために、当委員会が作成したものです。

該当団体の責任者様および副責任者様におかれましては、必ずこのガイドラインをお読みいただくと共に、団体内で記載事項を共有して頂き、記載事項に則った形でのご出展をお願い致します。

1. 感染拡大防止のための基本的な考え方

出展予定団体責任者(以下、「責任者」という。)は、教室等の施設の特性や新歓活動の態様を十分に踏まえ、施設内及びその周辺区域において、勧誘に従事する者(以下「関係者」という。)、勧誘を受けるために施設に来場する者(以下「来場者」という。)への新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、必要となる負担を考慮に入れながらも最大限の対策を講じていただく必要があります。特に、①密閉空間(換気の悪い密閉空間である)、②密集場所(多くの人が密集している)、③密接場面(互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる)という3つの条件(いわゆる「三つの密」)のある場では、感染を拡大させるリスクが高いと考えられ、こうした環境の発生を極力防止するなど、すべての主体が相互に感染回避に徹底して取り組むことが重要です。大阪大学大学祭中央実行委員会は、各出展予定団体に対し、以下の具体的な対策を講じていただくよう要請します。

2. 責任者が講ずる具体的な対策

(1)リスク評価

責任者は、新型コロナウイルスの主な感染経路である接触感染(①)及び飛沫感染(②)のそれぞれについて、関係者および来場者の動線や接触等を考慮したリスク評価を行うことが求められます。

①接触感染のリスク評価

共有物品やドアノブなど手が触れる場所を特定し、これらへの接触の頻度を評価します。高頻度接触部位(机、椅子の背もたれ、ドアノブ等)には特に注意を要します。

②飛沫感染のリスク評価

施設における換気の状態を考慮しつつ、勧誘の態様を踏まえ、人と人との距離や位置、方向、施設内で大声での対話等が頻発する場所等の状況を評価します。

(2)施設内およびその周辺における対応策

責任者は、リスク評価(①②)を踏まえ、当該施設について以下の措置を講ずるとともに、関係者間での情報共有および来場者への周知を図ってください。

・ブースの机等不特定多数が触れやすい場所の消毒を行うとともに、施設内の換気について十分な対応をとってください。なお、消毒液については当委員会が用意致します。

・ブース前は、人が密集しないよう工夫するようにしてください。

・直接対面での会話を回避してください。ビニール等は当委員会で準備します。

・会場定員を踏まえ、新入生と話し込まず適切に連絡先を交換するなどして会場に新入生がとどまり続けることのないように工夫してください。

・以下の場合には、勧誘ブースに立ち入らないでください。

①発熱があり検温の結果、37.5℃以上の発熱があった場合

②咳・咽頭痛などの症状がある場合

③過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある場合

・パンフレット・チラシ・アンケート等は極力手渡しによる配布は避けるようにしてください。

(3)関係者に関する感染防止策

・企画の準備・運営に必要な最小限度の人数とするなど、ジョブローテーションを工夫してください。

・原則としてマスクを着用するとともに、十分な間隔をとるようにしてください。また、手指消毒を徹底してください。

・機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限するようにしてください。

・マスク着用や手指消毒を徹底してください。

・清掃やゴミの廃棄を行う者は、特にマスクや手袋の着用を徹底してください。作業を終えた後は、手洗いを行ってください。

・自宅等での検温を励行し、37.5℃以上の発熱がある場合には自宅待機等の対応を行ってください。さらに、発熱の他に下記の症状に該当する場合も、自宅待機としてください。

咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐

・責任者は、関係者の緊急連絡先を把握してください。

・入退室の前後の手洗いや手指消毒を励行してください。

(4)周知・広報

感染予防のため、以下について来場者に対して周知・広報してください。

・咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底

・社会的距離の確保の徹底

・下記の症状に該当する場合、来場を控えること。

咳、発熱、呼吸困難、全身倦怠感、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐

(5)大阪大学大学祭中央実行委員会との連携

万が一感染の疑いのある者が発生した場合には、むやみに処置を行わず、速やかに大阪大学大学祭中央実行委員会まで連絡したうえで、指示を仰ぐようにしてください。

※本ガイドラインは、「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」(令和2年5月14日、公益社団法人全国公立文化施設協会)を参考に、大阪大学大学祭中央実行委員会が独自に作成したものです。